

令和7年度高3生(南陽高校 38期生)  
合格体験記

～都道府県順に掲載～

目次

- P2 金沢大学 医薬保健学域 医学類
- P3 京都大学 総合人間学部
- P5 京都府立医科大学 医学部 看護学科
- P6 大阪大学 外国語学部 スワヒリ語専攻
- P7 大阪教育大学 教育学部 養護教諭養成課程
- P8 大阪公立大学 農学部 生命機能化学科
- P9 神戸大学 医学部 医療創成工学科
- P10 神戸大学 文学部 人文学科
- P11 奈良女子大学 文学部
- P12 広島大学 教育学部  
第三類多文化・グローバル教育学プログラム
- P14 香川大学 医学部 医学科 合格

## 金沢大学 医薬保健学域 医学類 合格

### 【進路決定の時期と方法について】

医師になりたいとは小学生の頃から思っていた。高校一年生の頃に、医師になるためには医学部医学科に進学する必要があると知り、ここに向けて頑張ると決めた。きっかけは自分が小さい頃に医師に助けられたことがあったからで、医師になる過程は親などから教えてもらった。

### 【受験に向けての学習について】

よく「受験期は12時間以上勉強しよう!」ということを知ることが多いが、それが全てではない気がする。もちろんある程度の量をこなすことが必要だが、やみくもにやらずにしっかりと目標を持って頑張るべきだと思う。必死に勉強に向き合い、自分にとって適切でない時間の使い方をしていっているところを削っていくことで、結果的に12時間以上勉強していたということにつながると思うし、それだけの時間勉強できなくても後悔はないと思う。

### 【使用した参考書・問題集について】

数学:大学への数学Ⅰ対Ⅰ対応の演習

物理:良問の風

化学:重要問題演習

基礎が固まっていなままでは入試の問題は解けないため、基礎を確実にすることが大事だと思う。焦って難しい問題を解きたくなくなってしまうが、意外と基礎を固めることは難しく、このような問題集を何周もする必要がある人が(僕を含め)多いと感じる。そうすることで、いざ入試問題を解くとなっても応用的な問題も解けるようになる。応用は基礎の延長!

### 【悩んだこと・苦労したこと、その解決法について】

ずっと勉強ばかりでしんどくなる時があった。たまにランニングや筋トレをしたり、体を動かしたりするのが良いと思う。また、友達などと話すことで沈んでいた気持ちが明るくなったりした。

長い時間勉強に向き合う集中力が続かなかったりした。たまに友達とやってみたり、小休憩を挟んだりすることを意識した。なによりも、「絶対に合格する!」と強く思うことが一番大切ではないかを感じる。

### 【アドバイス】

日頃の間違いはテストでもしてしまう。楽観視せずに余裕を持てるくらいでする。難しいと感じるのは全員一緒なので、絶対に最後まで諦めない!

## 京都大学 総合人間学部 合格

### 【1・2年の高校生活について】

僕は男子ソフトボール部に所属して、週六日練習していました。キャプテンを務め、インターハイ出場や選手宣誓など貴重な経験をさせてもらい大きく成長できました。家では勉強時間が多くはとれないこともあり、「授業」でなるべく理解し切ることを意識していました。具体的には先生の補足等をメモしておく、理解が曖昧な範囲を明確にするなどが有効だと思います。

平日の放課後は数学を当日中に復習して問題集も解き終えました。休日は数学以外の問題集を中心に勉強していました。勉強時間よりもその日のノルマを設定して、ノルマをクリアしたら後は自由時間にして過ごしていました。志望校がある程度固まってきたら、それらに加えてテスト範囲の中で志望校に近いレベルの過去問やテスト範囲の問題集よりも難しい問題集にチャレンジしてみることをおすすめします。こうすることで、受験勉強とテスト勉強を並行して行うことができるので効率的かなと思います。

長期休みには、基礎的な問題を中心にこれまでの復習をするのがいいと思います。具体的には、英語、国語なら語彙や文法。数学や理科に関しては公式を使うだけの問題や語句。こういった問題を改めて完璧にしておくだけでも、後々大きなアドバンテージになると思います。

### 【進路決定について】

正直なところ、低学年のときには大学にあまり興味がなく、何を勉強したいのかもよく分かりませんでした。部活動が忙しかったため、高2の11月ごろまで進路に深く考えないまま過ごしてしまいました。冬になり志望校がまだ決まっていないことに焦り始め、本格的に大学について調べるようになりました。ITに興味があったので工学部、野球が好きなのでスポーツ健康学部、そして色々な分野を学ぶことができる総合系の学部の3つに絞りました。そして、親や先生とも色々話し合った結果、レベルの高い大学に挑戦しようと思い、京都大学の総合人間学部決めました。

もっと早く志望校について考えればよかったと後悔したことも結構ありました。勉強のモチベーションになるし、志望校を決めるのに早すぎるということはないと思います。自分の好きなものや理想の大学生活、仕事や将来を考えながら、早いうちから大学のことについて考えてみてほしいです。

### 【受験勉強について】

僕が受験勉強を本格的に始めたのは、志望校が決まった高2の冬からです。志望校が決まったらまずは、その学部の「配点」と「問題形式」を確認してください。重点的に勉強しなければならない教科や問題形式が分かると思います。この2つは大学によ

て本当にバラバラなので、効率的に勉強するためにも受ける大学全て確認しましょう。

高2の冬からはレベルの高い問題集や市販の問題集を中心に勉強しました。高3の夏休みには京大模試を受けたのでその復習もしました。部活を引退した直後は、気落ちしてあまり勉強に手がつかないこともありましたが、そこで無理する必要はありません。自然と少しずつ切り替えることができると思うので気長に待って、スイッチが入ったらまた再開したら十分だと思います。

高3の11月には古めの過去問をたくさん解きました。新しいものではなく古めの過去問にした理由は、直前期で新しい年度の過去問を解いて最新の傾向等を把握するためです。大学によって売っている過去問の年数は違うので、年数が少ないならこれまでの勉強を続けるか共テ対策を始めてもいいと思います。

共通テストについては、地理の配点が大きかったのと、数学と理科に苦手意識を持っていたので多めに過去問を解きましたが、各教科3~5年分くらいはやっておいた方がいいと思います。一つ注意してほしいのは12月に共テ対策だけをしすぎないようにしてください。僕は数Ⅲをこの期間何も解けなかったので、共テ後の勉強の中で数Ⅲの内容を忘れていたり、記述の問題に戸惑ったりして苦労しました。共テと2次の対策を、9:1くらいを目安に行うといいかもしれません。

共テが終わってからは志望校の過去問の残しておいた新しい5、6年分を解くようにしました。共テもそうですが、時間配分がとても大切なのでこの時期は必ず時間を計って解くようにしてください。

### 【アドバイス】

受験勉強の中で気をつけてほしいことが2つあります。

スマホは生活に必要な以上、上手に付き合う必要があります。僕は普通のスマホゲームを勉強系のゲームアプリに変えてみたり、勉強中はスマホを自分の部屋以外に置いたりするなど工夫しました。皆さんも自分に合ったスマホの制限方法を見つけてほしいです。

次にモチベーションの保ち方についてです。受験勉強は、まず勉強すること自体でストレスがかかり、長期休みや受験直前は人に会うことが減り孤独との戦いにもなります。僕は受験直前の間、受験に失敗することが怖くて現実逃避したくなり、なかなか勉強が進みませんでした。こうなると余計に焦ってしまい、悪循環に陥ってしまいます。僕の場合は、友達と会って話す時はその不安を忘れることができました。人によって色々なフレッシュの仕方があると思うので、受験直前でも息抜きを上手にしてなんとか乗り越えてください。

最後になりますが、まずは普段の学校生活や行事を目一杯楽しんでください。勉強も今からコツコツと積み上げていけばきっと大丈夫です。みなさんが来年再来年に希望の進路に進むことを願っています。

## 京都府立医科大学 医学部 看護学科 合格

### 【進路決定の時期について】

幼い頃に弟の立ち合い出産を経験したことがきっかけでずっと助産師という職業に強く憧れを持っていました。高校一年生の冬から自身の将来の夢や姉が志望していることもあり、京都府立医科大学に興味を持ち始め、2年生の夏にはオープンキャンパスに参加し多くの魅力を感じたことで本格的に志望校として目指しました。

### 【勉強法について】

#### ▽1,2年生の頃

授業内容の理解や課題、考査のための勉強で手一杯で、周りと比較して自信を失うこともありました。特に2年生は、総合探究活動や文化祭、部活動など勉強以外に費やす時間が長かったと思います。その分勉強へのモチベーションも低くなってしまいました。特に数学が苦手で、勉強をしなければならないと思いながらも目を背けてしまいました。ただ、苦手だった数学で自分に合う先生や勉強法と出会い、少し苦手意識がなくなりました。

#### ▽3年生の頃

数学が復習に入り、学校の問題集をひたすら解き、分からないところは先生や友達に質問していました。私は通学に片道1時間以上かけていたので、自分で時間を作らなければならないと思い、朝6時半に家を出て電車と自習室で2時間勉強してから授業を受けていました。同じように頑張っている人の姿は刺激になり、授業前に勉強できているという安心感にもつながりました。

### 【推薦入試対策について】

過去問以外にも、毎日医療ニュースを読んでまとめる、自分で参考書を買って医療問題などの知識を増やすなど、看護ノートを作って週に何度も先生方に見てもらっていました。常に看護のことで頭がいっぱいになるほど勉強しました。面接対策でも本当に多くの先生や友達のサポートがあり、1ヶ月半ほどの短い間で自信をもって受けられる状態まで仕上げることができました。

### 【アドバイス】

受験期は楽しいことのほうが少なく、眠たくない日なんてほとんどないと思います。私は一緒に頑張れる友だちにずっと支えられていました。どんなに憂鬱でも学校に行けば励ましてくれて一緒に勉強してくれる人がいて、そんな人たちに笑顔で報告したい一心で努力を重ねることができました。先生方もどんな相談や質問にも親身に向き合ってくださいるので、困ったときはぜひ先生方を頼る勇気をもってほしいです。高校生であることは本当に素敵なことです。悩んだり笑ったりした全ての瞬間が宝物になります。皆さんが努力した先に素敵な未来が待っていることを願っています。

## 大阪大学 外国語学部 スワヒリ語専攻 合格

### 【進路について】

僕は高校に入学してからずっと、大阪大学外国語学部を進学先として候補に入れていました。二次試験に数学がなく、中学生時代からの得意分野である英語と世界史の実力を発揮できることがその大きな理由でした。専攻語学こそ変遷したものの、最終的には候補を二つにまで絞り込み、共通テストの自己採点をもとにスワヒリ語専攻に決定しました。

### 【高校生活と学習について】

僕は学内ではESSに所属し、2年生の2学期からはその活動日である毎週水曜日を休息として、それ以外の日は基本的に学校からそのまま塾に移動し、夜10時まで滞在するようにしていました。塾の教材を主に用いながら、学校の教材も知識の補足として活用し、知識量をまずは増やしました。自宅から学校までは往復2時間弱かかりましたが、電車での移動中は単語帳や小説を読み、知識と記述双方をカバーできる隙間学習を行っていました。学校に通い続けることで生活リズムも完成し、心が折れそうになった時にはとりあえず通学することで、早期に学習サイクルを回復させることができました。

一方で、僕は記述問題の適性は高いが、知識問題や選択問題には不慣れであるという性質を抱えていました。その証拠に、定期テストや共通テスト模試では成績が伸び悩み、対して全統記述模試では早期に成績が高い水準で安定していました。しかし模試を重ねていくにつれて理解した自分自身の性質に対して、僕は知識の穴を埋めるよりも、それを補って余りうるだけの記述力を鍛えることを優先し、二次試験での逆転合格を狙いました。第一段階選抜を乗り越え、かつ二次試験という一発勝負で本領を発揮せねばならないという、賭けのように見えるかもしれない方法を取ることにりましたが、当事者である僕としては自分の性質を理解していたおかげで、順当な戦略だと自信を持っていました。

### 【アドバイス】

総論すると、僕が第一志望である大阪大学に入学できたのは、ただ勉学に励んだからというよりも、自分の性能を理解してそれに適した方法論を確立したことにあると、今確信を持って言えます。

## 大阪教育大学 教育学部 養護教諭養成課程 合格

### 【進路決定の時期について】

養護教諭になりたいという将来の夢があり、そのための養護教諭一種免許を取得できる国公立大は、近畿圏内では大阪教育大学しかなかったため、私は、高校 2 年生には進路を決定していました。

### 【共テのための勉強について】

時間： 平日 3 時間、休日 10 時間、共テ直前には毎日 11 時間

方法： 過去問、予備校の予想問題をできるだけたくさん解く

解き直しが 1 番大事

物理、化学 教科書を読み込み、書き込んでいく。

英語 単語はリープ Part3 までは完璧に。あとは早く読む練習

国語 古文単語を覚える。漢文は、句形を身につける。

数学 フォーカスゴールドの「\*\*」までは完璧に。

問題を見てすぐに解法が思い浮かべられるように!

地理 参考書や教科書を読み込む。授業をしっかりと聞く。

### 【受験勉強について】

大阪教育大学は共通テストの配点が大部分を占めていたため、共通テストまではその勉強に専念しており、共通テストが終わってから二次試験である小論文の勉強を始めました。

私は、模試の結果は比較的よかったのですが、「判定が良いからと言って油断していたら絶対に追い抜かれる。」「共テ本番で何があるか分からないから、気を抜いたらダメだ」と常に思っていました。また、私の友達は私よりも賢い人ばかりで、その友達と模試の点数の勝負をしては、毎回負けていました。しかし、私はその勝負があったおかげで、模試の判定や志望校内の順位だけを見て油断をするというのは防げたと思います。そして、過去問や予想問題で志望校のボーダーを超えるようになっても満足せず、それプラス 50 点を目標に首席合格をする気持ちで勉強をしていました。

### 【アドバイス】

共テ本番では、得点源となるはずだった得意教科の数①と物理が難化し、点数を稼ぐことができず、目標点数どころかボーダーも、大きく下回ってしまいました。しかし、第一志望には合格することができました。その理由として、小論文を先生にたくさん指導してもらいながら何枚も書いたことや、共テが難化した年で、別の大学に出願した人が多く、倍率が大きく下がったことはもちろんあると思います。ですが私は、志望校より一段階上の実力をつけようとしていたことが大きいと考えています。絶対に行きたい大学があれば、本番でどれだけ失敗してもなんとかなるようになるくらいの実力をつける気持ちで勉強をすること、絶対に油断しないことが大切です。応援しています!!

## 大阪公立大学 農学部 生命機能化学科 合格

### 【進路決定の時期と方法について】

友人たちが志望校を決めていくなかで、私は決定するのが遅かったのですが、3年生になって初めて大阪公立大学のオープンキャンパスに行ったことで大学生活のイメージを持つことができたと思います。また、高校に入学してから定期テストには力を入れていたので学校推薦型選抜に出願することができました。私の学部、学科は主に志望理由書、活動報告書、共通テストによって選考されました。

### 【学習について】

平日は放課後に学校の自習室で2時間ほど勉強してから、家に帰って夕食を食べた後、塾の自習室で2時間半ほど勉強する、を繰り返していました。同じ場所で勉強していると集中が続かないので場所を変えていました。土日は家や塾で9時間ほど勉強していました。

どの教科も学校で配られたワークを何度も解いていました。その他には(数学)青チャート(化学)鎌田の有機化学の講義、無機化学の講義をよく使っていました。共通テストが近づくと、予想問題と過去問を毎日4科目ずつ解いていました。学校の授業でも演習があったので終わったら必ず復習して、間違ったところをメモする癖がついたと思います。

学校から案内される模試以外に、大学別の模試を受けるのも、実際の入試会場と同じ場所で受験できるため良い機会だったと思います。私は数学と地理が苦手で、点数が安定しませんでした。共通テスト直前になると、得意な範囲だけは確実に点が取れるように勉強していましたが、特に数学は、もっとはやい時期から時間を意識して演習しておくべきだったと思います。

### 【アドバイス】

結果として学校推薦型選抜に合格することができましたが、共通テストの自己採点では合格点にとどくか分からず二次試験に向けて勉強をしていました。共通テストが終わってから私立大学の入試もありましたが、少し気が緩んでしまった部分もありました。難しいことではありますが、気持ちを切り替えることが大切だと実感しました。また、内申点も重要だったので、定期テストなどに普段から真面目に取り組むことが大切だと思います。これから受験する皆さんも自分に合った勉強方法や受験方式で進路を実現してください。応援しています。

## 神戸大学 医学部 医療創成工学科 合格

### 【進路について】

私が進路を決定したのは高2の冬頃です。医療工学に興味を持っていたことで、やりたいことから逆算してこの大学、学部を志望しました。

### 【勉強時間について】

受験を意識して勉強を始めたのは高1の春休みからです。それまでは、定期テスト前に少し勉強するだけで程度でしたが、春休み以降は、部活の兼ね合いもありましたが3~5時間程度行っていました。具体的には、LEAPを毎日見ることや、数学では、授業で習った範囲のサクシード、FOCUS GOLDを通してその日の復習を行っていました。3年生になってからは、部活の引退で勉強時間が増えたことで放課後から22時までのおよそ5時間半を平日では行い、休日ではおよそ10時間行っていました。

### 【参考書、問題集について】

私がよく使ったのは FOCUS GOLD です。問題の質が高く、簡単な問題から難しい問題まで幅広く掲載されていることで、基礎演習から二次演習まで幅広く役立ちました。実際、過去問を解いて分からない問題が出てきて、問題集を用いて単元のやり直しをしていると類似問題を見つけることなどがありました。また、共テ演習のために共テ対策問題集という本番形式で練習できる各予備校製作のものも解きました。色々な解くための戦略を見つけることができるのでやることをおすすめします。

### 【反省点、アドバイス】

私の受験の反省点は最後まで朝早くに起きられなかったことです。夏休み始まる前まではなるべく朝早くに起きて勉強するようにしていましたが、受験勉強も後半に差し掛かった頃から朝早く起きることが疲労等で難しくなり11時とかに起きてしまい勉強時間が減ることがよくありました。皆さんは、普段から規則正しい生活を心がけ、早くに起きられない等で後悔はしないようにしてください。

受験勉強は周りとの戦いだけでなく己との戦いでもあると思います。「できない自分」を認識するのを何度も繰り返す必要があります。ですが、それを繰り返していけば次々と「できる自分」を認識できるようになります。そして、その認識した「できる自分」が最後入試で1番の自信に繋がります。皆さんが希望の進路を描けることを切に願います。

## 神戸大学 文学部 人文学科 合格

### 【学習について】

#### ●国語

まず現代文については早くから記述対策を行うべきです。現代文は感覚で解いている人も多いと思います。しかし、感覚ではなく論理的に考えないと記述問題の解答は安定しないです。また、論理的に問題の解き方を身につけるのは時間がかかります。今から受験をする方にはできる限り早く論理的に問題を解くために勉強をしてほしいです。次に古文・漢文については古文単語帳や句法を最後まで覚えることとたくさんの問題を解くことしかないと考えています。古文単語帳を繰り返すとかなり読めるようになると思います。

#### ●英語

単語と多くの文章を読むことが大切だと思います。まず、単語は登下校の電車の中で勉強しました。電車の中は集中できるのでおすすめです。また、たくさん英文を読んで慣れる事で早く読む事ができるようになったと感じます。英語も日本語と同様に文章なのでたくさん読むというのが、正攻法であるように思います。英作文は先生に見てもらわないと分からないので、積極的に添削を受けるべきです。

#### ●数学

神戸大学の文系数学は基本問題が多いとされるので、Focus Gold の例題を繰り返し解き、基本的な問題を解けるようにしました。共通テストの数学は形式に慣れる事がとても大切で、数をこなすと点数が安定してくるという感じでした。数学は勉強していると意外と楽しくなるので、文系の人も臆する事なく数学に挑んでほしいです。

### 【アドバイス】

うんざりするほど言われているかもしれませんが、普段の授業や定期テストを大切に、健全な生活習慣を意識することが力になっていくと思うので、受験生の方は頑張ってください。

使用参考書(学校配布以外)

・現代文読解の基礎講義 ・速読英熟語

## 奈良女子大学 文学部 合格

### 【進路決定の時期と方法について】

志望校を決めたのは高校2年生の夏です。オープンキャンパスで学生の方と話し、大学の雰囲気が好きだと思ったので志望しました。

### 【受験に向けての学習について】

受験勉強を始めたのは3年生の7月です。共通テストや二次試験の英語の演習を始めました。8月に初めて志望校の過去問(英語と国語)を解き、9月に公共や情報を始めました。共テ直前は社会のプリントを見直し、過去問を解きました。授業がある日は3~5時間、ない日は7~9時間勉強しました。2月上旬以降は国公立の過去問を解きました。

### 【使用した参考書や問題集について】

#### <国語>

##### ・古文単語 330

古文・漢文は得点源になります。先輩のアドバイスを参考に、例文の助動詞に丸をつけました。

##### ・漢文必携

句形マスターシートや句形ドリルに訓点をつけて赤シートで隠し、白文を読む練習をしました。二次試験の直前には語彙編で語句を確認しました。

#### <数学>

##### ・短期攻略大学入学共通テスト数学 I・A、II・B・C

基礎を復習できます。II・B・Cの方が素直な問題だと聞いたので先に解きました。

#### <英語>

##### ・共通テスト英語リーディングレベル別問題集

苦手な大問の練習に、なるべく毎日解くようにしました。

### 【アドバイス】

私は2年生で志望校を決めたのに、共通テストや二次試験がどのようなものかすぐには調べませんでした。また、受験勉強を始めた時期が遅く、共テまでに数学の復習が終わりませんでした。志望校を決めたらすぐ試験について調べ、いつまでに何が必要か把握することが大切です。

また、私は模試で2割を取り続けるほど数学が苦手でした。しかし、共通テスト直前まで得点できそうな分野を勉強したところ、その分野が出て4割近く取れました。直前まで点数は伸びるので、諦めずに頑張ってください。

最後に、共テ本番で高得点でも油断しないことが大切です。私は本番で一番高い点が取れ、初めてA判定が出て、正直なところ少し気が緩んでしまいました。自信を持ちつつも謙虚でいることが大事だと思います。健康に気をつけて焦らず頑張ってください。応援しています!!

## 広島大学 教育学部 第三類多文化・グローバル教育学プログラム 合格

私は、志望校の決定時期が周囲と比べて非常に遅かった為、受験対策について参考になるか分かりませんが、私の体験談を紹介したいと思います。

### 【進路決定について】

私が志望校を決めたのは、高3の8月でした。高1の頃から色々な分野に興味を持っていましたが、本気で学びたいことや大学でしたいことが明確にならず志望校決定が大幅に遅れました。しかし、このような悩みを色々な人に相談するうちに、小学生の時に抱いていた夢を思い出し、大学で夢の実現に近づきたいなど考え見つけたことが、志望校決定のきっかけです。

### 【対策方法】

#### ● 自己推薦書(自己アピール文)

自分の長所を単語で書き出し、思考ツールを用いて「なぜそれが長所と言えるのか」を深掘りました。

#### ● 小論文

学校の小論文対策講座で基本的なルールを学び、志望学科に関連するワードやニュース等を本やTVニュースから調べオリジナルの単語リストを作成し、説明できるように暗記しました。また、chat GPTを用いて、要約文の練習を行い何度も添削してもらっていました。

#### ● 面接練習

色々な先生や生徒の人に何度も面接を見てもらったこと、フィードバックをいただいたことで改善点を明確にすることができました。

### 【アドバイス】

#### ● 自分の軸(考え)を明確にしておく

面接や小論文は自分の考えを述べることが多いので、軸が明確であるほど迷いなく回答できます。

● 学部学科に関連した知識や学問、大学の方針などはたくさん調べたほうがいいと思います。何を聞かれても回答できるようにしておくことと試験に役立つだけでなく、入学後の先取り勉強にもなるのでおすすめです。

#### ● 色々な人と話すことが大事

私は、学校外で行われた国際機関の職員さんによる講義や平和について意見交換す

るイベントへ積極的に参加し、興味のある分野について学びを深めることができました。また、イベントを通して色々な人と話したことで抱いていた思いを言語化でき自身の軸を明確にできました。

**【みなさんに伝えたいこと】**

私の志望学科は、新設の学科で過去問が十分でなくとても不安でしたが、夢の実現に向けてできることを最大限行いました。どのような条件であっても、自分の決意と覚悟で道は開いていくと思うので、限界を決めずに色々なことに挑戦してみてください。また、受験は自分の力だけではなく多くの方が色々な所で支えてくださっています。どんな時も感謝の気持ちを忘れずに最後まで頑張ってください。

## 香川大学 医学部 医学科 合格

### 【進路決定について】

高1で選択科目を選ぶ頃から生物に興味を持ち始めていて、特に人の体に関わる研究をしたいと思うようになった。高2から医学科を視野に入れ始めたが高3の秋でもまだ迷っていた。学科を定めたのも12月で最終的に志望校を決めたのは共テ後に判定を見てからだった。いい判定が出る大学はみんな良く出ていて倍率上がりやすいからあまり左右されないのも大事。

### 【勉強について】

2年の10月頃から学校外の自習スペースだけ借りていた。まだそこまで真剣ではなかったから行ったり行かなかったり。その時志望している大学の過去問を1回解いてみて目標と傾向を掴んだ。迷っていたから3校くらい解いた。共テの同日模試も受けてスピード感とどの教科をどれだけ伸ばしたら目標点に届くか考えた。

3年の前半は2次対策が中心。中高一貫だったのでほとんど全範囲終わっていてそこからは演習を中心にしていた。まだ志望校が決まりきってなかったので色々な大学の過去問をひたすら解きまくって特に分からない範囲だけ問題集に戻っていた。時間は制限していなかったけれど何分かかったかくらいは確認しておいて、最後まで解ききることを意識した。参考書はほぼ使わず学校のものを使っていた。全科目記述式なので先生に添削してもらって採点基準や解答のコツを学んだ。先生に問題傾向を聞くこともとても参考になった。

11月12月くらいから学校でも共テの演習が増えてきて共テまではそっちがメインになった。とにかく文章量が多いから早く解く練習、これはいっぱい解いて慣れるしかないと思う。地理は授業をしっかりと聞いてその都度身につけておいたら直前に勉強時間を取られない。国語も授業時間内だけでほぼ終わらせた。

1月後半、共テ終わって志望校を決めたら赤本をどんどん遡っていった。10年分くらい。時間はちゃんと測った。最新のだけ残しておいて直前に模擬試験として解いた。私立も傾向が違う教科だけ5年分くらい解いておいた。並行して面接練習も先生にしてもらった。言うことを大まかに考えていくにつれ自分の中の理想像も明確になって行ったと思う。

### 【苦勞したこと】

スマホを見てしまうこと。SNSは全部消して、どうしても見る必要がある時はWeb版で見ている。Web版は使いづらすぎて結構見る気無くなります。

### 【アドバイス】

- ・自分の場合は学部すら中々決まらなかったけれど、早く決めて過去問演習をいっぱいすべきだと思う。大学によって問題形式とかよく出る範囲が全く変わるからそれに合わせた対策を練ることが大事。
- ・高3の南陽祭は受験始まっている子もいて大変だけど絶対思い出になるから全力で楽しんだ方がいい!その他でも勉強漬けよりもメリハリをつけた上で友達と適度に遊ぶ方がストレスも少なくて変に追い込まれたりしない。
- ・同じくらいの目標を持っている友達を見つけることで意見を交換し合え、一緒に頑張れる。
- ・集中はそんなに続かないから切れたと思ったら音楽聴くとか散歩するとか1回切り替えることが大切。難しい問題は時間で測るというより自分が切れた時をタイミングにする。